

ホームと家族を結ぶ

おとずれ 148号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運荘介護保険サービスセンター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : info@ninun.or.jp 編集・発行

<http://ninun.or.jp>

任運荘広報委員会



廣本総合施設長挨拶

8月17日(水)、
任運社初盆供養・
盆踊り・花火大会
が行われました。今
年は天気にも恵まれ、
暑い一日となり打ち
水を行いながら18
時30分から開始し
ました。納骨堂前の
初盆供養会場には、
任運荘と騰々舎の入
居者と職員が勢揃い
し、騰々舎寮母・森
岡愛子の総合司会で
まりました。

平成28年度 任運社 初盆供養



東住職による供養経

任運荘で初盆を迎え
られた方々です。

- 齊藤タツノ氏(86歳)
 - 工藤 正治氏(71歳)
 - 渡戸 節子氏(78歳)
 - 衛藤 千明氏(90歳)
 - 阿南 宗一氏(90歳)
 - 佐藤 大造氏(92歳)
 - 首藤 繁子氏(83歳)
 - 阿南 幸丸氏(96歳)
 - 小倉キミ子氏(98歳)
 - 古庄スミコ氏(87歳)
 - 森 宣子氏(92歳)
- 以上の11名です。

開会にあたり廣本理事長より、「今年の初盆供養者は、任運荘が11名、騰々舎が1名です。皆さん最後まで家族と職員に見守られて旅立つて逝かれまして。盆供養に当たって新盆だけでなく皆さんの祖先、身近な方々に思いを馳せ、東住職のお経と共に供養します」と挨拶がありました。司会者より初盆供養者の紹介がされ、大福寺の東住職による「供養経」が静かに行われました。皆さん目を閉じ、それぞれの思いに手を合わせられました。供養経が終わると次は盆踊りです。玄関前の会場では、小松明

【こだい】や竹灯籠に火が灯されると幻想的な雰囲気と笑い声で賑やかにまりました。浴衣姿の職員の盆踊りが始めると利用者の皆さんは日頃と違う姿を見て手を叩いていました。

盆踊りの曲はお馴染みの、「しあわせ音頭」"ゆかた音頭" "火の国太鼓"の3曲です。利用者が作る輪の内側を職員が向かい合って踊りました。



盆踊りの様子です



職員の浴衣姿

職員の見ながらテンポの良い曲では職員と一緒に「ハイハイ、ハイ！」と掛け声を合わせていました。今年は中央にやぐらを組み職員が太鼓を叩いて盛り上げました。

3曲踊った後でひと休み、厨房職員によるカキ氷が振る舞われ、皆さん涼しさを味わいました。

後藤タケさんは、「寮母さん達、踊りがうまいですね。今年も有難うございました」

志賀フキさんは、「寮母さんの浴衣姿がきれいです」。



ご家族と一緒にの仲村リツ子さん

古庄ヨシコさんからは、「毎年この様な供養をしていただき感謝しています」と、言葉をいただきました。

最後に皆さんが楽しみにされている”花火大会”です。満月の夜空に、打ち上げられる花火や仕掛け花火にあちこちから歓声が上がりました。

最後に、騰々舎の吉田施設長より新盆の方々への供養が無事にできたこと、夜間にもかかわらずお越しいただいたご家族の皆さんや近隣住民の方々へのお礼、実行委員へのお礼を兼ねての挨拶で終了いたしました。

担当 須藤けさ代

俚楽の郷見物

5月23日(月)午後、「俚楽の郷・伝承館」へ古庄ヨシコさん、嶺八千代さん、村上昌子さんの3人をお連れしました。古庄ヨシコさんより要望があり実現しました。

日程が決まると、「本当に連れて行ってくれるんな」と、古庄さんは喜ばれ、嶺さんと村上さんも久しぶりのドライブでした。

古庄さんは故・後藤絹さんとは同級生だとお聞きしました。館内に入ると沢山の作品が並んでおり、懐かしい昔を見事に再現し、実体験を元に作られた素晴らしい作品ばかりでした。

古庄さんが「絹さん、やっと来たで、あんた相当頑張ったんじやなあ、よう、こげえ人形をこさえたなあ。やおなかつたじやろ」と人形に語り掛けていました。

私達も胸が一杯になり涙が止まりませんでした。

後藤さんが人形を作れなくなった時にこんな詩を読んで枕元に飾っていたそうです。



「吾は 消えゆくも人形のみは 永らえて昔の すがた もの語り せよ」と古庄さんが語ると、それを聞いていた伝承館の職員は驚かれ、「後藤絹さんの事をこんなに知っておられ、あの詩を覚えておられるとは」と驚かれ涙されていました。



紙粘土の人形作品



人形に語りかける古庄ヨシコさん

懐かしさと心がほつと安らぐ作品を見て、村上さんと嶺さんも「牛もようできちよる」「昔は私どうも子守をさせられたあな」と昔の体験を話してくれました。私達も人形を通して懐かしい気持ちになりました。施設に戻り「今日はどうでしたか」とお聞きすると「絹さんも喜んだかもしれないけど、私も嬉しかった」と言われました。また皆さんをお連れしたいと思いました。

担当 吉野 明子

ビューティー教室!

7月28日(木)、午前10時より任運荘ホールで「ビューティー教室」が、町内の後藤化粧品店と資生堂の御好意で開催されました。

「資生堂のスタッフがお化粧してくださいますよ」と皆さんに伝えると「もう何年も鏡を見ちよらんけん、たまがるでなあ」と大笑いしながら待つていました。美容部員3名の方が来られ、皆さんの前に鏡が置かれると、「このシワは、簡単に伸ばさないよ」と顔を撫でていた後藤タケさんや「誰



モデルになった、濱嶋伊津美さん

かと思うた」と鏡を覗いて引田民子さんは皆さんの笑いを誘っていました。

濱嶋伊津美さんがモデルとして皆さんの前でお化粧をしていただきました。拭き取り化粧水が終わると乳液でマッサージをし、「メダカの学校」を歌いながら、頬↓口の周り↓おでこリズムカルにクルクルとマッサージをしました。「あ!肌が、やお(柔らかく)なった」と喜んでる方が多い中、ファンデーション、口紅を塗って101歳の森ハルミさんは「いいですなあ」と笑顔。



101歳に森ハルミさん



久しぶりの化粧に、
にっこり村上昌子さん

衛藤文子さんは、「死んだ父ちゃんが
出ちくりや困るで」と恥ずかしそう
にされていました。眉毛のお手入れを
してもらった佐藤富子さんは、「き
れいなお肌ですね」と声を掛けられ
ていました。好みの口紅を引いて化
粧が終わる頃には、ホールには良い
香りが漂い皆さんを包み込んでいま
した。

お世話をしていた後藤化粧
品店の皆様と資生堂美容部員さん
に心より感謝申し上げます。
担当 森 園美

緑のカーテン



ホールの窓のカーテン

今年も緑のカーテン作りを、利用者の皆さんと一緒に行いました。涼しいだけでなく、食べられる実のなるものが良いと、「ゴーヤ」と「パッションフルーツ」をプランターに植え、ホールの前に置きました。「ゴーヤ」は、沢山生り、朝の涼しいうちに皆さんと収穫しました。

一方、「パッションフルーツ」は、伸びるだけ伸びてなかなか実が生りませぬ。「あんゝ、外国の名前のツルは花が咲いたんかや・・・？」との問い合わせがありました。とりあえず涼しい日陰はいただいたので、トロピカルフルーツを味わえる日を心待ちにしてもう少し待つことにしましょうと伝えました

担当 森 園美



こんなのが出来たよ～！ 柴田フサ子さん・嶺八千代さん

温泉ドライブ

6月21日(火)の午後2時より竹田市直入町長湯の「みつばちの湯」へ出かけました。

毎月行われる、「利用者・職員対話会」で「温泉に行きたい」という意見があったからです。参加者は、清水シズ子さん、川上キヌコさん、阿南公子さん、渡邊ツネコさんの4名です。「ほんとに行くんな」と驚かれましたが、「要望は言うてみるもんやなあ」とワクワクした様子でした。

車中から外の景色を見ながら川上さんは「朝顔が咲いちよる」「ここはどこな」「朝地の看板がある」などと声が弾んでいました。



温泉の中の様子

「もうすぐ長湯に着きますよ」と伝えると、清水さんは「昔は何時にも来よつた、温泉ち聞くと長湯が一番」と言われ昔を思い出していました。温泉リフトも利用でき、不自由なく皆さん入ることができました。

お湯から上がり感想を伺うと、「よう、温もつたで」と言われた渡邊さんは予期せずお孫さんが勤務されており「ばあちゃん、良かったね」と二重の喜びとなりました。温泉から出た後は皆さんでティータイム。ジュースを飲んで一息しながら「気持ちよかつたなあ」「たまにはこんなのもいいなあ」と言われていました。帰りの車中では外の景色を見ながら、川上さんは、緒方の標識が見えると「緒方ち書いちよる」と教えてくれました。



湯かげんは 良いですか

阿南さんは、「こげん良いことはないよ」と笑顔で、渡邊さんは、「また、いきたくないなあ」と言われました。その夜はぐっすり休まれたようです。またこの様な機会を持ちたいと思っています。「みつばちの湯」のスタッフの皆さんご協力ありがとうございました。

担当 羽田野 瞳



「あ〜、温もつた」と清水シズコさん



やっぱ、長湯が一番と阿南公子さん

ふるさと訪問 小野春子さん

6月26日(水)午前10時より大野町の自宅へお連れしました。

車中から見える田植えを終えたばかりの景色を見て笑顔一杯でした。自宅に着くと息子さんが「お帰り」と出迎えてくれました。玄関や周りを見ていると、息子さんから「あれは、どこに行くにも乗っていたバイクで」と倉庫の方を指さすと「ああ」と笑顔になりました。

仏間で手を合わせ、しばらくご主人の遺影を見つめていました。茶の間には、生活されてきた時に可愛がっていた金魚が水槽の中を悠々と泳いでいました。久しぶりの再会で、大きく育った金魚に驚き、



大切にしていた金魚



ご家族と一緒に

いとおしそくに水槽をなでていると金魚もそばに寄ってきました。今回のふるさと訪問は、息子さんから金魚の話聞き様子を見たいという気持ちから実行されました。

しばらくして次男ご夫婦も帰って来られました。お嫁さんからプリンを食べさせてもらいなから、皆さんが昔話をされているのをじつと聞きながら過ごしました。

帰る際は車が見えなくなるまで息子さん達は手を振って下さり、車中で、「お元気で、また帰りましょうね」と声を掛けると小野さんは、「ほんとなあ」と言われ笑顔で一杯でした。

担当 吉野 明子



玄関前で皆さんと

7月23日(土)午前10時より緒方町井上のご自宅へお連れしました。

車中で「首藤さんは井上の何組ですか?」とお聞きすると「うちは一番組!」と教えてくれました。

自宅に着くと奥さん、お孫さん、お嫁さんが「おじいちゃんお帰り」と出迎えてくれました。

いつも座っていた椅子に座ると奥さんが「お父さん、わかるな?」いつもおつたところで「声掛ける」と首藤さんは照れ笑いをされ、右手を上げて、答えました。お孫さん達も「じいちゃん、よく帰ったなあ」と寄り添われました。昼食はご家族の手作り料理を召し上がり、午後2時過ぎにお迎えに行くと、玄関で皆さんと首藤さ

首藤隆光さん



思わずにっこり 首藤さん

さんが穏やかな表情で待っていました。ご本人の結婚写真を見て、奥さんの名前を呼ばれたそうです。

「じいちゃん、元気にしててな、また帰ろうな」と声を掛けられ、奥さんは「また面会に行くけん」といつまでも名残惜しそうでした。

施設に戻ると、職員から「首藤さんお帰りなさい。どうでしたか!」と声掛けられると手を上げて笑顔で一杯でした。

担当 吉野 明子

濱嶋伊津美さん

7月31日(日)午前10時より緒方町下自在のご自宅へお連れしました。

自宅に着くと、ご家族が「お帰りなさい」と出迎えて下さいました。濱嶋さんも笑顔で一杯でした。

玄関を入ると「御先祖様へお参りを」と仏壇の前で手を合わせられ、帰宅の報告をされました。その後、リビングで皆さんと話をしたり、ソファで休んだりされるなど楽しく時間を過ごされそうです。お嫁さんからは、「家に帰って来たのがしつかりわかっていたようで、笑顔が多く楽しそうにしていました」とお聞きしました。

昼食は、レストラン白滝(原尻の滝)で竹田市に住む娘さん、お孫さん、ひ孫さんが駆けつけ総計10名で賑やかな食事会だったそうです。



皆さんと レストランで!



ご主人とご一緒に

夕方、帰荘された濱嶋さんに「家はいかがでしたか」とお聞きすると、「あー、良かったで」と笑顔で教えてくれました。いつも面会に来て下さいますが、やはり自宅は格別な思いだったのでしよう。

古澤マチコさん

8月12日(金)午前10時より緒方町天神の自宅へお連れしました。

天神の道に差し掛かると道の両脇に息子さんが栽培されているレンコン畑が見えてきて、蓮の花が迎えてくれました。自宅へ近づくと「この頃、涙がよう出るんじゃない」と、タオルで目を拭いていました。

自宅では長男ご夫婦が待つていてくれました。お座敷に上がり、仏壇の前で亡くなったご主人やご先祖様に線香をあげ、手を合わせて「家族を見守つちくれなあえ」とお参りされました。

ご家族が用意されたシユークリームとロールケーキを「こりゃあ美味しい!」と食べながら、家族や天神地区の話をして和やかな時間を過ごしました。



息子さんのレンコン畑



息子さんご夫婦と玄関で



ただいま帰りましたと報告

帰る時に長男さんから「また来年帰つて来てな」と声を掛けられ、ご家族に見送られながら、名残惜しそうに帰りました。

帰荘してから感想を伺うと、「仏様がきれいやった。立派にしちくられてありがたいな」と安心されていました。

担当 深田 康子

甲斐不二子さん

6月30日(木)午前10時より緒方町鮎川の自宅へお連れしました。

出発前に「自宅へ帰りましょうね」と声掛けると、ぼろぼろと涙をこぼされました。

自宅へ着くと長男ご夫婦が「お帰り」と出迎えてくれ、「母さん、偶然にも今日は、父さんの命日なんで、自分はずい忘れていたけど、父さんが呼んだのかな」と言いながら仏壇の方へ車椅子を押して行かれました。

お参りした後、お嫁さんの手作りケーキを美味しく食べられ、ご夫婦からの問い掛けにうなずきながらこたえておられました。雨模様でしたが、農業の好きだった甲斐さんは、田んぼを見ておられました。帰荘すると「ありがとう」「ありがとう」と何度とも言われていました。

担当 小平菜穂子



息子さんと甲斐不二子さん

つぶやき

古澤マチコさん

朝ごはんですよ・・・とテーブルに食事をもちますと、じつと見て「この頃、あなた様も ご飯がおいしんでしょなあ」と遠回しに言ってくれました。

倉原イツ子さん

今日はいい天気ですよと声を掛けると「まあしつちよるで!？」とはっきり答えてくれた

後藤 タケさん

困っている事はありませんか・・・?とお聞きすると「私はここに命も荷物も預けましたから、心配ご無用!困ったことはないよ。戦争・核は駄目!〇がいいよ」こりゃ 一本取られました。

首藤 隆光さん

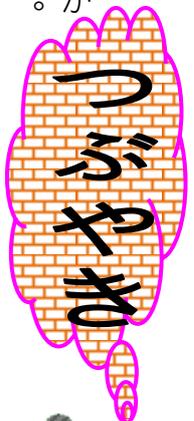
テレビでオリンピック中継を(陸上)を見ていた。首藤さんは、オリンピックに出るとしたら何に出ますか・・・?と聞くと「徒競走」とはっきり答えてくれた。

森ハルミさん

盆供養の夜にご家族が駆けつけてくれたので毎年来てくれますねと、声掛けると「よう、私ん事を忘れんで 来てくれます」と笑顔

佐藤シズコさん

食事の介助時に「歳をとると、目がうすくなりますね」と言うときつぱり・・・



甲斐不二子さん

目を閉じられていたので耳元で好きな小柳ルミ子の歌をそくと歌うと「瀬戸は日暮れて夕波小波」と言う「あなたの島へお嫁にゆくわ」と続けて歌ってくれました。

長門長喜さん

盆供養時、職員の盆踊りを見て「長門さん、どうですか・・・?」と声掛けると、うなずき 言葉にならず、目に一杯涙を浮かべておられました。

古庄ヨシ子さんと志賀フキエさんの会話

ビューティー教室があることをお知らせした後

古庄氏 「しばらく、化粧やら しちようらんき たまがるでなあ」

志賀氏 「化粧しち、美しなったら又嫁ぎ 行きなあ」

古庄氏 「もう、嫁さんじゃねえで、行くところは決まっちゃる!

それは、棺桶じゃ」

この会話にテーブルにいる皆さんは大笑い。

仲村リツ子さん

「何かご希望はないですか」と聞くと「私はな、じいちゃんに味噌汁を作る事」と言われたので、近々ご主人の面会時に一緒に味噌汁を作ることを約束した。

お知らせ

平成28年度 社会福祉法人 任運社 敬老会ご案内

開催日：9月19日(月)

会場：サービスセンターなごみ塾ホール

●式典：14時00分～14時40分

●お楽しみ会：14時40分～15時10分

《なごみ塾職員によるアトラクション》

任運社合同大運動会ご案内

10月2日(日) 10時～12時を予定

●開催場所は なごみ塾中庭、

●雨天時は各施設のホール

お待ちしております!



【2016年9月】

- 8日(木) 喫茶
- 13日(火) 委員会
- 15日(木) サービス相談委員
業務検討会議
- 19日(月) 任運社敬老会
- 20日(火) 任運大学
- 22日(木) おがた五千石祭
- 23日(金) 彼岸供養
- 25日(日) 誕生会
- 29日(木) 利用者・職員対話会

【2016年10月】

- 2日(日) 任運社合同大運動会
- 11日(火) 委員会
- 13日(木) 喫茶・施設内研修
- 20日(木) 任運大学
サービス相談委員会
- 27日(木) 利用者・職員対話会
- 30日(日) 誕生会

「フカナビー!オオイタ」の番組で放送されます。

NHK総合番組
日時 9月23日(金)
午後7時30分

施設行事等の取材や撮影が行われてきました。
放送予定は次の通りです。

ご覧下さい

当法人運営である、障がい者支援施設「騰々舎」へ、NHK大分放送局より「騰々舎俳句会」ご指導されている工藤隆子さん、会に参加されている利用者の皆さん、そして騰々舎の日常の様子を番組にしたい」との依頼があり、7月より俳句の会や

防災対策

防犯訓練の実施

8月17日(水)18時より施設へ不審者が乱入したとの想定で緒方北警察官駐在所署員の立ち合いの下、夜勤者(宿直者1名/任運荘夜勤者3名/騰々舎夜勤者3名)が防犯訓練を実施しました。

神奈川県が「障がい者施設で発生した殺傷事件」に関連して、当該施設に不審者が乱入した場合、現場の職員はどのように対応していくかを訓練するものでした。

